

2024年(R6年)

7月

No. 385

# ひと は っ う し ん

# HITOHATSUSHIN



社会福祉法人 ひと は 福 社 会  
〒739-1203  
広島県安芸高田市向原町長田1857番地  
TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

(ホムパ-ジアド) http://hitoha-fukushi.com (メールアド) honbu@hitoha-fukushi.com

山々の緑が色濃くなりました。みなさんいかがお過ごしでしょうか。  
私事でですが、5月に1か月の休暇をいただきました。今までこんなに長くひとをはを離れ

たことはありませんでしたが、離れて感じるものがたくさんありました。

この1年間は、ひとをはを通して知り合った大切な人たちとのお別れと、新たな生命との  
出会いの繰り返しでした。その中で、ひとをはが「求め続けている「ひとをは、どう生きるか」を体現  
してくださった人たちのことか、頭を巡ります。また、かけがえのない生命の誕生に出会うこと  
で、命を守ることに育むことが私たちの使命であることを今更ながら強く感じています。

休暇中一度ひとをはに来た時のことです。その日は工房のおたのしみ会が計画されていた  
『ここは、ひとをはの里...』の看板が見えてきた時は、思わずほっとしてにんまりしました。ひとをは  
ガーデンには、たくさんの椅子とテーブルが並び、日よけのシートまで張ってあり、「準備、完璧  
じゃね」と言う「農園のみんながやってくれました。」と。「伊藤さん、久しぶり」と声をかけて  
くれる仲間たち。まさにぬくもりの暮らしを感じさせてくれます。私にとって、豊かな時間を  
いただいたことに感謝しています。

ひとをはの里  
大きな木が  
たくさんある  
大きな木が  
たくさんある  
大きな木が  
たくさんある

さて、6月は恒例となった「ブルーベリー狩り」が始まり、ひとをはガーデンの花たちが皆さんを  
お出迎えします。県道37号線を通られましたら、ひとをはの里へお立ち寄りください。  
(ひとをは工房 伊藤 千代子)

## あたらしいなにかが ぶえました

2907  
名前 杉田 ひとみ  
所属 くらむぼん  
食べてみたい朝ごはんは?  
神戸北野ホテルの朝食です。  
世界一の朝食とされています。

名前 橋本 楓  
所属 食事部  
食べてみたい朝ごはんは?  
海鮮料理の  
食べたいです。

名前 寺井 美代子  
所属 ひとをはぼん・くらむぼん  
食べてみたい朝ごはんは?  
「おにぎりぼんご」の  
おにぎり

名前 糸井 哲  
所属 共同ホームひとをは  
食べてみたい朝ごはんは?  
自分の作った米・野菜・みその  
朝定食を、宮古島で。

## 【後援会員より】

通信 いつもありがとう。みんなの思いが集まり、広がり「ひとをは 大樹にもなる  
べし」ですね。リンゴの摘花～摘果が続きます。(青森県)

読み進めるうちに頬の筋肉がほぐれる通信ありがとう。(豊田郡大崎上島町)

ひとをはつうしんに水田くん(彼の担任をしていました)の名前ができて、うれしかったです。  
元気にしているのかな。(広島市南区)

いつもありがとう ごさいます

# 「おれも、分かるよ」

高伏さんと事務所の前ですれ違、た時のこと。

ひ

「増野さん、ちょっと相談があるんだけど...昨日、グループホームの人がパニックだったんよ。探し物をしとったんじゃけどなかなか見つからなくて、俺に『とったんか?』って怒って聞いてきたんよ。じゃけーとらんよ、て答えた。なんであんな事言うんかね」

と

「その人はどこにしまったかす、か忘れてしまって、探しても探してもなくて不安になっちゃったんだと思うよ」と言う。「あーそうか。俺もなくなった時に不安になって、パニックになるけー、分かるよ」(本人さんのリュックサックのポケットにあったよです。)

は

高伏さんの懐の深さに脱帽。ありもしない疑いの目をかけられたら、

私... 次の日から普通に話しかけられるかなあ...

(ひとは工房 増野 奈緒)

# 「休み！」

増長さんと昼食を食べ終え、作業所に戻っている時、きららせスタッフの顔写真が貼ってある模造紙に越智の手を取って「ととーさん！」と言いたが、引っ張った先にいたのは寺尾文尚さんでした。「どしたん？」と聞く。「休み！」との返答が。増長さんの中では文尚さん休みなんだと思いたが、

日

「じゃあ早急仕事に来るようと一緒に願、とこうや！」と話をしました。

感慨深い一場面でした。

(ひとは作業所 越智 修)

# 「産んでません」

ホームを離れて、何週間かぶりに沖本さんを見かけ、私のこと覚えてくれるかな?と思いたが、手を振ると、満面の笑みで「はるちゃんじゃ〜！」と名前を呼んでくれました。近くまで行くと「赤ちゃん産まれたん??」と沖本さん。思い返すと、私はホームを離れる前「子どもの所に行く」と説明していました。沖本さんは、その言葉を聞いて「子どもを産むから産休で休む」と解釈していたようです。その場にいた皆で大笑いし、和やかな空間になりました。そして、変わらずに笑顔を見せてくれる沖本さんに癒された日でした。

夕

(くらむぼん 森末 はるの)

# — ひとは40周年を前に —

相談支援事業所もやいの前身、生活支援センターもやいの行事として、地域で生活を送っている知的な障がいのある方々の交流会を企画し、会の夕前を「未来に(は)ばたく仲間の集い」と参加者のみなまで考えて決めました。

最初は、参加したみなまでやりたいことを出し合いながら、お花見をしたりサーカスを観に行ったりと余暇的な活動をしていましたが、ひんたよことから映画上映会をやるよという話になり、「どうせやるなら私たちの声を聞いてもらおうよ!」というよで、映画上映会『ぼくはうみがみたくなりました』

とシンポジウムの二本立てのイベントをすることになりました。当日の司会に安作さん、谷川さん、発表者に次郎水さん、園部夫妻、その他の役割分担など、当事者の方々が主体でイベントを作り上げ、当日もたくさんの方々が来てくださり、大成功を収めました。

イベント売上金の使い道についてもみなまで考えてもらい、「半分はお世話になっているひとはに寄付して、もう半分は打ち上げてパあつと使おうよ!」とイベントを最後までやりきったみんなのたくましい安と、打ち上げて一緒に食べた焼肉の味は今でも忘れられません。

(岡崎 慎治)

編

集

後

記

ある日の放課後、子どもから「白井さん、最近バイク乗、とる?」と聞かれた。ドキッ! 実はここ最近...というか1年くらい? 放置してしまっていた。更に車検に持っていこうとしたらエンジンがかからなくなつており、あの午この午でチャレンジしたもののついにかからず、レッカーを呼んでバイク屋さんを持って行ってもらったのだ。また他の日に「バイク乗、とる?」と尋ねられ「今家にないよ」と答えると「え、売ったん?」と聞かれ、車検と修理中よ、と答えたが...戻ってきたら、と氣にかけてあげないと、と反省。(白井 くみこ)